

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	第4回入間市地域公共交通協議会
開 催 日 時	平成28年6月23日(木) 午前10時00分 開会・午後12時00分 閉会
開 催 場 所	入間市産業文化センター第2集会室A
議 長 氏 名	埼玉大学大学院理工学研究科環境科学・社会基盤部門 教授 久保田 尚
出席委員(者)氏名	別紙1のとおり
欠席委員(者)氏名	別紙1のとおり
説明者の職氏名	入間市 市民部 市民生活課 課長 齋藤忠士 " 主幹 藤田拓也 国際航業株式会社 社会インフラ部 グループ長 植木健一 " 主任技師 生田紀子
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	【公開】 別紙2のとおり
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	別紙2のとおり
事務局職員職氏名	入間市 市民部 市民生活課 課長 齋藤忠士 " 主幹 藤田拓也 " 副主幹 小林知子 " " 水村昌秋 " " 大野祐太
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1. 開会
2. 会長・副会長挨拶
3. 議題
 - (1) 第3回協議会意見への対応
 - (2) 公共交通編成に向けた基本方針
 - (3) ていーろーどの見直し方針
4. その他
5. 閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
1. 開会	
2. 会長・副会長挨拶	
久保田会長	おはようございます。第3回までの議論で入間市の公共交通をどうしていくのかということで、様々な意見を頂きました。今回の第4回では、方針について議論していきたいと思います。
小嶋副会長	おはようございます。今回の資料は、見直しに関する様々なデータが盛り込まれていますので、一緒に議論していければと思います。
3. 議題	
事務局	(資料-1 第3回協議会意見への対応)
久保田会長	資料-2の説明をお願いしたい。
事務局	(資料-2 公共交通再編に向けた基本方針(案))
芳賀委員	P.1の課題①入間市民の移動確保に関して、前は「入間市民の日常生活の支援に向けた移動手段の確保」になっていたはずだが。
事務局	訂正いたします。
芳賀委員	課題①バス停周辺の環境整備に関して、バス停周辺に限定した話にするのではなく、鉄道駅周辺の駅前広場、乗降場、駐車場の整備等の環境整備も加えたらどうだろうか。
茂木委員	駅前広場を課題に含めると議論の対象が広くなりすぎるのではないかと。また、市役所でも駅周辺の整備に関しては別の計画の中で進められているのではないかと。
高橋委員	区画整理事業の一環として、入間市駅北口土地区画整理事業の中に入間市
(入間市都市建設部)	駅北口広場の整備は計画されているが、相当先になる見通しである。
	また、武蔵藤沢駅周辺の土地区画整理事業はすでに完了しており、芳賀委員が指摘された入間市駅の駐車場整備に関しては当面厳しいのが都市建設部の考えである。
芳賀委員	通勤通学や多目的に移動する人たちの支援といったことが、入間市の上位

発 言 者	発 言 内 容
	<p>計画では随所に出てくる。そのような人たちにとって大事なことは、バス停の整備だけではなく、家族が送迎しやすい駅前の整備や通勤者が止められる駐車場の整備も必要である。それは、入間市民の日常生活の支援に向けた公共交通対策の一つであるため、目標の 1 つに掲げるのはどうだろうか。</p>
久保田会長	<p>P.3 (3) で鉄道駅及び駅周辺に関する話は出ており、市の施策としては、駅のことを考えていないわけではない。この協議会の守備範囲をどこまで広げるかということになるが、事務局の考えはいかがか。</p>
事務局	<p>入間市が対応できる範囲としては、バス交通のルート見直しや新しくバス停を設置することで利用者が増えることを想定している。たとえば、交通空白地域にバス停を設置することで今までカバーできなかった地域の利用者が増えるといったようなことである。基本的に、芳賀委員からご指摘頂いた鉄道駅を含めた計画は想定していない。また、鉄道駅を含めた計画を検討する場合、この協議会に J R の関係者も必要になってくる。</p>
芳賀委員	<p>皆様がそのような意見ならば、駅前広場整備等については反映を見送る。</p>
久保田会長	<p>この協議会で鉄道駅周辺整備を検討範囲に含めるか否かの議論が明確になった。</p> <p>他、いかがか。</p>
双木委員	<p>路線バスの折り返し地点において、数台の駐車場があれば送迎といった面で便利になると思う。</p>
久保田会長	<p>それは駐車場というより停車スペースだと思うがいかがか。</p>
双木委員	<p>そのとおりであり、現在は県道沿いに何台か停車し、送迎している状況である。</p>
久保田会長	<p>自発的にそのような行為を道路上でしている方がいるとなれば、一つの課題である。</p>
事務局	<p>現在、バス停周辺に一時的な駐輪場・駐車場を考えている。パークアンドライドのようなイメージを考えており、これからは駅に迎えに行くのでは</p>

発 言 者	発 言 内 容
久保田会長	<p>なく、バス停近くに迎えに行くようにして、バスの利用促進につなげていただければと考えている。今回の双木委員の提案は施策の一つとして参考にさせていただく。</p>
畦地委員	<p>実現できるかはともかく施策の候補のリストに入れていただきたい。他、いかがか。</p>
事務局	<p>P.9 のソフト整備の広報・チラシ等による啓発活動に関して、具体のメニューの中の「イベント」とは具体的にどのようなことか。</p>
事務局	<p>先日、小平市の交通フェアを視察したところ、地域の子供たちが来て、公共交通に親しむことがバス利用の促進につながると感じた。そこで、入間市が毎年行っている交通安全フェアに公共交通を含めたイベントができないかを模索している。</p>
古屋委員	<p>P.10 の民間企業との連携に関して、具体的に説明頂きたい。</p>
事務局	<p>社会資源の活用と称している。瑞穂町の西友のみずほモールと入間市駅の間には11本の送迎バスが走っている。このバスは「特定」の免許で走っており、上手く活用ができれば、宮寺地区の交通空白地域を埋められるのではないかと考えている。また、二本木地区の東野高校の送迎バスが東野高校と入間市駅の間には一日数十本走っている。羽村や東飯能方面にも走っているため学校の協力を得ながら活用できないかと考えている。これに関しては、道路運送法などの制約があるため、簡単には実現できないが、一つの大きな目標として掲げている。</p>
古屋委員	<p>みずほモールに関して、宮寺地区とみずほモールを結ぶだけであれば不可能ではないだろうが、入間市駅からみずほモール行のバスに乗って、宮寺地区で降りるのは話が全く違ってくる。また、高校のバスに関しても、有料にするのか無料にするのかで大きく変わってくるため、十分調査をやっていただきたい。</p>
事務局	<p>法的な整理が必要であることは認識している。またご相談に乗っていただきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
久保田会長	ハードルが高いことではあるが、慎重に相談しながら進めていっていただきたい。
荒岡会員	資料1のコミュニティバスの導入事例において、さいたま市が設定目標を収支率が40%以上に設定しているとあるが、この目標のためにどのような取組をされているのかご存知か。
事務局	さいたま市はバスの運行形態や乗車方法の説明を学校単位で実施しており、利用者の底上げを図っている。入間市でも、昨年からは西武バス狭山営業所のご協力での乗方教室を実施しており、今年7月に宮寺公民館で行う予定である。
山崎委員	P.7の基本方針2とP.8の2つの目標を合致していないと思われる。たとえば、P.10目標2「ていーろーど」の運行を長期的に維持するといった目標に対して、手法の広域的な運行や民間企業の連携といった内容は合致していない。したがって、別の視点で広域的な運行や民間企業の連携をするといった新しい目標3を挙げた方が、基本方針に沿った内容になると思われるが、いかがか。
事務局	事務局の方で、理論的な部分、体系的な部分を整理していく。
久保田会長	<p>P.8から「ていーろーど」に関して記載されているが、P.10で「ていーろーど」の直接的な目標とは違う内容が出てきているということは山崎委員のご指摘の通りである。</p> <p>P.7からの内容に関しては、前回と今回である程度中身が固まってきたと考えられる。あとは、今回受けた指摘を整理することで、(案)の文字を取る方向で進めていきたい。</p> <p>それでは資料2に関しての議論はここまでとして、資料3に移りたいと思う。事務局の方、資料3の説明をお願いしたい。</p>
事務局	(資料-3 ていーろーどの見直し方針(案))
久保田会長	今回の提案は、かなり今の「ていーろーど」と変わる形だが、何か意見、質問はあるか。

発 言 者	発 言 内 容
小島副会長	P.15 のていーろーどとの経路見直しイメージに関して、矢印の中心は市役所や駅等で乗換えがしやすいようなイメージで合っているか。
事務局	矢印の中心に関しては、交通結節点を設け、乗換えなどの利便性を図るなどのイメージを持っている。その結節点が駅になるのか市役所になるかは今後検討していく。
芳賀委員	「ていーろーど」は多くの停留所に止まるため、駅に着くまで1時間程度かかる。それでは、朝の通勤通学目的で利用できないため、朝夕の時間限定で駅への直通コースを設けたらどうだろうか。
事務局	「ていーろーど」が西武バス狭山営業所の車庫から、朝の回送時に入間市に入った時点で営業する等の工夫は可能である。また、朝夕専用のルートも検討する余地があるため、ご意見として承りたい。
芳賀委員	「ていーろーど」とは少し離れるが、デマンド交通として、事前に予約するような仕組みで朝夕便を運行することにより、通勤通学利用者を補完することは難しいだろうか。
事務局	<p>全ての通勤通学利用者を「ていーろーど7台」でまかなうことは不可能であり、西武バスと通勤通学等の運行時間帯にどれだけ連携して走っていかれるかどうかを考える必要がある。デマンド交通自体は可能だが、入間市の状況を考えると時期尚早ではないかと考えている。あくまでも定時定路線の輸送で考えている。</p> <p>将来、バス停まで歩くことが厳しい方が多い等の状況になった場合、Door to Door の時代が来るであろう。その時に、デマンド交通を考えていきたい。</p>
芳賀委員	<p>住宅付近の細街路を走るのではなく、停留所まで運行するという形でデマンド交通をやるのはどうだろうか。</p> <p>遠い未来のことを考えることも必要だが、公共交通の議論をしている今がチャンスだと思うので、是非方針に盛り込んでもらいたい。</p>
事務局	デマンド交通の失敗事例として、通院でデマンド交通を利用した場合、行

発 言 者	発 言 内 容
	<p>きは良いが、診察が長引いて帰りに乗れないというケースがある。そういった方はデマンド交通を当てにならないと考え、結果利用しなくなるといった事例がある。このような事例を踏まえ、まずは定時定路線を固めていきたいと考えている。</p>
芳賀委員	<p>今回は時期尚早ということだが、入間市駅は 35000 人/日の利用者があるため、そのような人たちの交通手段の支援を今後考えて頂きたい。</p>
荒岡委員	<p>先ほど通勤時間帯に狭山営業所から入間市に入った時点で営業することが可能という話が出たが、狭山市内から運行は難しいのか。</p>
山内委員	<p>自治体を跨いでの運行となるため、両市で合意が得られればバス会社としては可能である。</p>
荒岡委員 事務局	<p>それが実施できれば、資料 2P. 10 の広域的な運行になるのでは。 広域的な運行の範囲には含まれるが、それとは別に、狭山の「茶の花号」と連携して、武蔵藤沢-狭山ヶ丘-入曾野の間での運行や乗り換え等の利便性を図るなど、所沢・狭山・飯能・入間各市の担当者同士で現在協議を始めている。</p>
茂木委員	<p>P. 15 のていーろーど<small>の</small>経路見直しイメージがよく分からない。詳しく説明してもらいたい。</p>
事務局	<p>「ていーろーど」と健康福祉センターのバスを合わせると 17 万人/年の固定客がいると考えられる。また、バスは通行可能な道路がある程度限られているので、現状のルートからの変更は大幅にはできない。だが、各コースともにルート延長が長く、ある地域から利用者が少なくなるポイントがある。そのポイントでワゴン車への乗り継ぎをしていただく形になる。それにより、矢印の部分の運行本数が増やせるとともに、ワゴンタイプの「ていーろーど」で今までカバーできていなかった交通空白地域などを回ることができる。加えて、ワゴンタイプの「ていーろーど」では、タクシー免許での運行が可能のため、利用者が降りる場所を運転者に伝えることで、停留所でなくとも降りることが可能になり、きめ細</p>

発 言 者	発 言 内 容
茂木委員 事務局	<p>やかなサービスが提供できる。</p> <p>ワゴンタイプの「ていーろーど」に固定路線はないということかあくまで定時定路線のワゴン型バスといった形になる。ルートを固定しないとタクシーと同じになる。</p> <p>ワゴン型バスの定員は約10名だが、仮にワゴン型バスに乗れなかった利用者がいた場合は、バスの運転者がすぐにタクシーを手配し、そのタクシーに乗って頂く。料金に関しては、利用者はワンコイン（100円）を払い、残りの金額は市が補填するといった形を考えている。先進事例として坂戸市の「さかっちワゴン」がある。</p>
久保田会長	<p>今回はこのイメージに基づいて、具体的なルート提案があるかと思われるので、議論していきたい。</p>
事務局	<p>（第1回交通利用者分科会の報告、第2回交通利用者分科会の案内、市民大学の案内、第5回協議会開催日程）</p>
双木委員	<p>第5回協議会で、委員の方々がどのような公共交通機関を利用してきたかのアンケートをしてみたらどうだろうか。</p>
久保田会長	<p>面白い取り組みですね。事務局の方、検討をお願いします。</p> <p>それでは、他に質問もないようですので、第4回協議会を閉会します。</p>
5. 閉会	
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____</p>	

第4回入間市地域公共交通協議会

区分	機関名	職名	氏名	出欠
1	西武鉄道(株)	次長兼鉄道計画課長	富田 恭史	○(代理)
2	西武バス(株)	取締役運輸計画部長	山内 智矢	○
3	1号委員 西武ハイヤー(株)	業務部長	藤原 康之	×
4	丸大観光(株)	代表取締役	齋藤 栄作	○(代理)
5	松葉交通(株)	代表取締役社長	松原 緑	×
6	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局	首席運輸企画専門官	古屋 仁	○
7	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所	副所長(技術)	小林 達徳	×
8	3号委員 埼玉県	企画財政部交通政策課交通企画・ バス担当主査	畦地 英樹	○
9	埼玉県飯能県土整備事務所	道路環境部長	今井 祥晋	○
10	埼玉県警狭山警察署	交通課長	長屋 俊直	×
11	4号委員	公 募	荒岡 真由美	○
12		公 募	芳賀 隆夫	○
13	5号委員 埼玉大学大学院	理工学研究科 環境科学・社会基盤 部門 教授	久保田 尚	○
14	埼玉大学大学院	理工学研究科 環境科学・社会基盤 部門 准教授	小嶋 文	○
15	6号委員 西武バス労働組合	執行委員長	高橋 袈裟男	○
16	7号委員 豊岡地区区長会	扇町屋第2区副会長	久保 富美子	○
17	東金子地区区長会	東金子体育協会幹事	塚原 とみ子	○
18	金子地区区長会	前金子地区区長会長	双木 茂芳	○
19	宮寺・二本木地区区長会	前宮寺・二本木地区区長会長	細谷 秋雄	○
20	藤沢地区区長会	藤沢地区交通安全母の会会長	齋藤 勝子	○
21	西武地区区長会	西武地区第8区会長	茂木 保孝	○
22	8号委員 入間市	企画部長	田中 利之	○
23	入間市	環境経済部長	山崎 利明	○
24	入間市	市民部長	田 雑 弘 章	○
25	入間市	福祉部長	加藤 保夫	○
26	入間市	健康福祉センター所長	竹 井 仁	○
27	入間市	都市建設部長	高橋 健一	○



第4回 入間市地域公共交通協議会

日時：平成28年6月23日（木）10時00分～12時00分

場所：入間市産業文化センター2階 第2集会室

－ 次 第 －

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議 題
 - (1) 第3回協議会意見への対応
 - (2) 公共交通再編に向けた基本方針
 - (3) ていーろーどの見直し方針（案）
4. その他
5. 閉 会

【配付資料】

- 資料－1 第3回協議会意見への対応
- 資料－2 公共交通再編に向けた基本方針（案）
- 資料－3 ていーろーどの見直し方針（案）

- 参考資料－1 第3回協議会議事録
- 参考資料－2 第1回利用者分科会